

自分の考え，感じたことを表すために必要な「表す力」をつける
 いろいろな言葉について調べよう 「言葉の意味を追って」（6年）

主張点

1 本単元で育成する国語力をこうとらえる

【要旨】

教材文「言葉の意味を追って」は，新村出・猛親子が「広辞苑」を出版するまでの大変な作業とそれにかかる情熱や苦勞を，時系列に沿って述べている伝記的要素を含む説明文である。

「広辞苑」は，二十万を超える見出し語を収録し，国語辞典と百科事典の働きを併せ持つ辞典である。その編集に携わった新村親子の辞典作りにかかる情熱によって，25年という歳月をかけてようやく完成し，出版された。

言葉の意味を追う仕事に終わりではなく，これからも「広辞苑」には，新たな見出し語が付け加えられ，書き改められていく。

【ねらい】

本単元における中心的な学習のねらいは，「C読むこと」の「イ 目的や意図に応じて，文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること」と「オ 必要な情報を得るために，効果的な読み方を工夫すること」である。また「B書くこと」の「ア 目的や意図に応じて，自分の考えを効果的に書くこと」と「オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること」である。

「書くこと ア 目的や意図に応じて・・・」

「読むこと イ 目的や意図に応じて・・・」

「意図」 相手や目的意識に加え，場面意識，表現の仕方に関する意識などより
 広い内容を含んだもの（指導要領解説）

↓

なんのために（目的）

どのようなことを（内容）

どのように（方法）

書くのかを明確にする

必要感や目的意識をもって

文章構成や語句の使い方・文末表現を手がかりに

内容を的確に読み取る

説明的文章・文学的文章を素材として自分の表す力（書く力）を付ける

↓

「香川型教材」を活用しながら，文章の構成に注意して，辞典作りについて書かれていることを読み取り，言葉への関心を深める。

読み取ったことから自分たちの辞典作りに生かせること（注意すること・大切なこと）を見つけ，取り入れる。

子どもが主体的に取り組む学習を組織する

↓

身近な生活にかかわる言葉を集めて，自分の言葉で辞典を作る。

子どもたちが辞典や辞書と聞くと，たいていは言葉について調べるときに便利な国語辞典や，漢字を調べる漢字辞典をイメージするだろう。「広辞苑」に関しては全く知らない子どもたちも少なくないであろう。そんな子どもたちが「広辞苑」を実際に見ると，その分厚さに驚くとともに，自分が知っている辞典との違いに大変興味をもつと思われる。

「広辞苑」が出版されるまでの，新村親子の辞典作りにかける情熱や努力を読み取る中で，子どもたちは，様々な苦難を乗り越えて辞典作りに取り組んだ親子の生き方に感動も覚えるだろう。また普段何気なく使っている言葉の意味を，誰にでも分かりやすく伝えることがどれほど難しいことかを知り，言葉に対する認識を新たにすることも期待できる。そして，改めて「言葉」に関する新しい視点を見いだし，その働きや意味を考えていくきっかけとなり，自らの言語生活の見直しを図ることにつながることを願いたい。

内容に学んで，自分に生かす

2 学習指導・評価のポイント

学習指導計画（全12時間）

次	時	学 習 活 動	評 価 規 準
第 一 次	1	○ 教材文を通読し，学習の見通しを持つ。 【学習活動具体例】 「広辞苑」を実際に手にして，感じたことを自由に発表する。 言葉の意味を考えて辞典と比べる。	【関】 言葉や辞典に関心をもち，文章を読もうとしている。 ワークシート例 大事にしたいこと 自分も辞典を作るという目的意識をもって読む

第 二 次	2 3 4 5	○ 教材文の構成をとらえ，冒頭から国語辞典についての説明を読み取る。 ○ 広辞苑が出版されるまでの流れや新村親子の辞典作りについて読み取る。 【学習活動具体例】 香川型教材を活用して，年表型文章構成図を作る。 ○ 読み取ったことをもとに，国語辞典作りについて分かったことをまとめる。	【読】 文章の構成をとらえ，国語辞典について述べられていることを読み取っている。 【読】 辞典作りの流れや新村親子の仕事ぶりについて読み取っている。 【読】 国語辞典を作るときに大切なことや難しいことについて読み取っている。 ワークシート例  大事にしたいこと 新村親子がどんな辞典を作ったのか・どんな苦勞をしてきたのかをはっきりと読み取る
第 三 次	6	○ グループごとに，どんな辞典を作るかについて話し合う。 【学習活動具体例】 「○○辞典」と名前を付け，具体的にどんな内容なのか・誰に見せるのかをはっきりさせる。	【話・聞】 自分の考えを明確にして話し合っている。 ワークシート例 大事にしたいこと 目的意識・相手意識を明確にする (例) ぼくたちの辞典で「築地」を残そう ○○小植物辞典
第 四 次	7 8 9	○ 分担して言葉を探し，見出し語の説明の観点を考えて「見出しカード」を作る。 【学習活動具体例】 言葉の説明を書くことで，どんな観点で説明を入れるのかをグループで話し合い，観点をはっきりさせる。 ○ 説明の観点をもらさないように気をつけて，見出し語の説明を書く。	【読】 言葉を集めたり説明したりするために必要な資料を探して読んでいる。 ワークシート例 大事にしたいこと 入れたい言葉を持ち寄って相談する場（練り合って言葉を選ぶ場・思考する場） 【書】 説明の観点をもとに，構成を考えながら言葉の説明を書いている。

	10	○ 書いた文章を読み合い，友達の助言を参考にして説明がよく分かるように修正する。	ワークシート例	大事にしたいこと 相互交流で助言の内容をどう取り入れるか
	11	○ 「見出しカード」を分類し，載せる順番を決め，辞典を完成させる。		
第五次			【関】 グループで協力して辞典作りに取り組もうとしている。	
	12	○ 完成した辞典を互いに読み合い，感想を伝え合う。	【関】 友達の辞典のよさを見つけて評価しようとしている。	

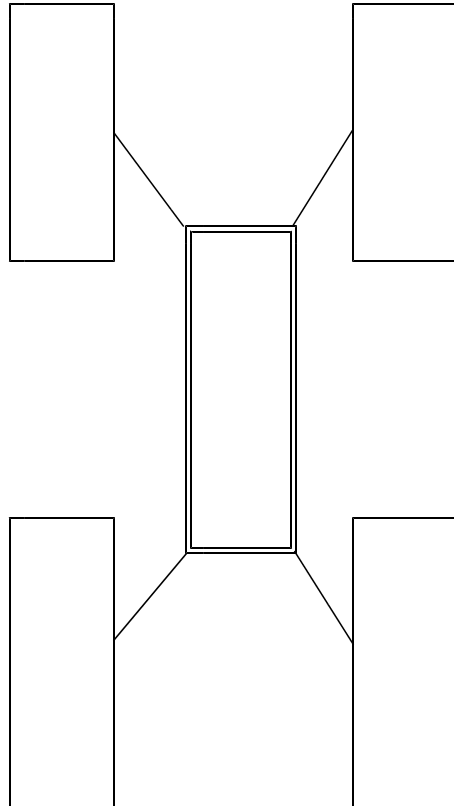
* ワークシート例 ～ は，資料として次ページに添付
 ワークシート例 は，教科書指導資料より引用

ワークシート例

[illegible]

	年
	ページ
	で き ご と
	出 版 に か け る 思 い や 願 い

ワークシート例

[illegible]

ワークシート例

辞典

目的

相手

作ってみたい辞典

どんな辞典を作るか話し合おう

様子や感じなどを表す言葉

動きや存在を表す言葉

物やことがらを表す言葉